4735	267	題号不明	角光雄	言語	栗ごはんおひおひ母のこと話す	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	214	￥46	￥1	￥1	秋
4736	267	題号不明	角光雄	言語	頭が既に草に入りけり秋の蛇	2005	『白菜』	105	￥46	￥1	￥1	秋
4737	267	題号不明	角光雄	言語	さんまに酢職退きし身をいとほしむ	2005	『白菜』	66	￥46	￥1	￥1	秋
4738	267	題号不明	角光雄	言語	留守番の大き口開け桃食べる	2005	『白菜』	81	￥46	￥1	￥1	秋
4739	267	題号不明	角光雄	言語	いちにちが乾いて終る草虱	2022	『新版　角川俳句大歳時記　秋』	735	￥46	￥1	￥1	秋
4781	269	題号不明	梶山千鶴子	言語	摩周好し騎士の如くに霧迫り	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	132	￥46	￥1	￥1	秋
4782	269	題号不明	梶山千鶴子	言語	踊る輪の灯影佞武多の眉強し	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	186	￥46	￥1	￥1	秋
4783	269	題号不明	梶山千鶴子	言語	萩刈りて高き甍は知恩院	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	269	￥46	￥1	￥1	秋
4784	269	題号不明	梶山千鶴子	言語	海光の山門を入り初紅葉	2019	『俳句歳時記　第五版』	656	￥46	￥1	￥1	秋
4785	269	題号不明	梶山千鶴子	言語	湖北には地蔵多くて芋茎煮る	2007	「平成秀句選集」	137	￥46	￥1	￥1	秋
4786	269	題号不明	梶山千鶴子	言語	曼珠沙華昏れ千灯の炎となりぬ	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	649	￥46	￥1	￥1	秋
4812	271	題号不明	関戸靖子	言語	棚経の僧にくらしのこと聞かれ	2019	『俳句歳時記　第五版』	600	￥46	￥1	￥1	秋
4813	271	題号不明	関戸靖子	言語	川へ火の出たがる施餓鬼太鼓かな	2019	『俳句歳時記　第五版』	602	￥46	￥1	￥1	秋
4814	271	題号不明	関戸靖子	言語	夫死にしあとのながいきとろろ汁	2019	『俳句歳時記　第五版』	561	￥46	￥1	￥1	秋
4815	271	題号不明	関戸靖子	言語	かたまつて日の斑つつけり紅葉鮒	2019	『俳句歳時記　第五版』	625	￥46	￥1	￥1	秋
4816	271	題号不明	関戸靖子	言語	やや膝をひらいて柿を剝いてゐる	2007	「平成秀句選集」	193	￥46	￥1	￥1	秋
4817	271	題号不明	関戸靖子	言語	数珠玉や鶏がかほ出す札所寺	2008	『俳句歳時記　第四版』	651	￥46	￥1	￥1	秋
4834	276	題号不明	岩木躑躅	言語	栗のもとの人やくびすをかへしをり	2000	『大正秀句＜新版＞日本秀句６』	3	￥46	￥1	￥1	秋
4837	277	題号不明	喜多みき子	言語	回廊の木目たちたる白露かな	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	36	￥46	￥1	￥1	秋
4848	278	題号不明	菊地一雄	言語	ひとごゑのかへる深山の初紅葉	2019	『俳句歳時記　第五版』	656	￥46	￥1	￥1	秋
4849	278	題号不明	菊地一雄	言語	人にやや離れて生きて草の花	2007	「平成秀句選集」	148	￥46	￥1	￥1	秋
4854	279	題号不明	吉岡泰山木	言語	地を歩く懸巣や雪も遠からず	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	398	￥46	￥1	￥1	秋
4858	280	題号不明	吉川一竿	言語	角伐の勢子頭とし祓はるる	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	200	￥46	￥1	￥1	秋
4859	280	題号不明	吉川一竿	言語	虫送りここまでといふ磨崖仏	2006	『角川俳句大歳時記　夏』	262	￥46	￥1	￥1	秋
4868	281	題号不明	吉村ひさ志	言語	雨に飽き臥待月を見せし雲	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	101	￥46	￥1	￥1	秋
4869	281	題号不明	吉村ひさ志	言語	忌に酌みて心に秋の風を聴く	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	113	￥46	￥1	￥1	秋
4870	281	題号不明	吉村ひさ志	言語	山の日に染めあげられし赤蜻蛉	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	440	￥46	￥1	￥1	秋
4871	281	題号不明	吉村ひさ志	言語	火口丘笹竜胆に峙てる	2006	『角川俳句大歳時記　秋』	659	￥46	￥1	￥1	秋